

四天王寺夕陽丘保育園

「すべては子どもたちのために」を念頭に、子どもたちの主体性を育む保育の質の向上を図ります。

明日を担う子どもたちの人権を守り、保育園生活において子どもたちが安心でき、こころよい居場所となるよう、保育環境に重視し質の高い保育を実践します。また、保育の見える化を図り、家庭と保育園のつながりを深め、地域に必要とされる施設を目指します。

～具体的な事業活動～

(1) 乳幼児保育 ～「わたし・ぼく困ってる」と言える保育～

- ・個々を尊重し、育ちを中心に据えたきめ細やかな保育を実践します。
- ・改訂した全体的な計画の共通理解を図り、良い育ちにつながる保育を行います。
- ・年齢の縦横の子ども同士の関わりを大切にし、人間関係の幅を広げます。
- ・支援を必要とする園児のために、人的・物的環境を整え、関係機関との連携・共有をはかり、安心して生活できる保育を行います。

(2) 地域支援活動 ～「いっしょにあそぼう」の姿勢で地域に開かれた保育園～

- ・専門職による子育て相談、支援を行い、園庭開放の充実を図ります。
- ・積極的な情報発信を行い、透明性が高く地域に必要とされる施設を目指します。

(3) 人財育成 ～互いに学びあえる風通しの良い職場環境～

- ・子どもを中心にした保育を進める為に、保育士が保育を語る機会を確保し、気づきを得、学び合うことで保育士の質を高めます。
- ・相談援助技術を高める研修に参加し、保育園の機能・専門性を最大限に活用して、相談・援助を行える保育士を育成します。

(4) リスク対応・環境整備

～「やってみたい」「やってみよう」と思える・言える・やれる環境設定～

- ・子ども一人ひとりが生き活きと活動できる保育環境を設定します。
- ・業務マニュアルを定期的に確認・更新し、安定したリスク対応をおこないます。
- ・老朽化に伴う、修繕・改修を計画的かつ迅速に行います。

～改善活動～

(1) 定期的に人権擁護のセルフチェックを行い、人権擁護の意識を高めます。

(2) ノンコンタクトタイムを確保し、一人一人が働きやすい職場作りを行います。